

14. 前回の協議会での主な意見の措置状況について

分野	意見・要望	対応
大学生のメタボリックシンドローム対策事業	大学生に関する調査結果のうち体型の認識について、性差があるか教えてほしい。20歳前後の人達の肥満に対する自覚と判定にかなり乖離がある。	調査の分析は、本年度(平成21年度)実施するので、この中で、性差についても分析を行っていく予定である。
歯科保健	学校保健や健康増進法では、歯科の部分は、まったく手につけられない状況である。その点で大学生のメタボリックシンドローム事業にも、取り組みをしていただけるといい。	大学生メタボリックシンドローム事業として行われた新城保健所の調査結果において、食べ方とBMIの関係が確認された。このため、メタボリック対策において、若い世代から「よく噛んで食べる」ことの普及啓発が重要であることが示されたことなど、歯科保健対策は、母子保健、学校保健と一層連携を強めて、普及啓発を行っていく。
慢性腎疾患対策について	CKD 啓発事業を教えてほしい。	平成 20 年度から始まった特定健診には、CKD に関する項目が入っていない。愛知県では、愛知県腎臓財団を拠点として、CKD 対策協議会を設置し、実態調査、研究、病診連携、普及啓発を進めていく予定である。 広報啓発事業は一般の県民に対する CKD に関する啓発と、医療機関に対するクレアチニンのデータと処置に関する啓発のための準備を行っている。
薬草園の整備計画について	薬草園の整備計画について教えてほしい。	あいち健康の森の北の部分に薬草園用地があり、あいち健康の森の有効活用とともに、県内に複数の大学で薬学部が新設されており、共同で研究開発するという発想もあり、こうしたことも踏まえて、あいち健康の森に薬草園を作る方向で検討を進めている。

ヘルシーカードについて	<p>ヘルシーカードの個人情報保護に関して、県がどのような対応をされようとしているのかを伺いたい。</p>	<p>ヘルシーカードについては、個人情報や医療法上の問題があるため、厚生労働省の「社会保障カードあり方検討会」で、機能に加えて個人情報の取扱いについて、検討が進められている。</p> <p>愛知県でも、ヘルシーカードにおいて、個人情報の問題が非常に大きな問題となっており、例えば、データ等を IC チップで入れることにすれば、個人情報の問題はあまりおこらないが、非常にデータの集約とか管理がしにくい。一方、愛知県のホストコンピューターの中に入れたのを IC チップで引き出すという形になると、ハッキングにより個々の個人情報がすべて流出してしまう。こうしたことを踏まえながら、今後、慎重に事業を進めていきたい。</p>
生活習慣病対策協議会	<p>地域職域連携推進協議会が部会化され、集められたデータをうまく分析するという方向にむかえると、このシステム変更は非常にいいのではないかと。次の段階に進んで欲しい。</p>	<p>実効性のある生活習慣病対策には、地域保健と職域保健の連携が必要不可欠であり、愛知県生活習慣病対策協議会と統合し一元化することにより、他の部会とも連携・協力した検討が可能となると考えている。</p>
	<p>健康日本21あいち計画について、生活習慣全体を総括する部会があってもいい。21 計画には疾病のリスクファクターが並べてあるだけなので、関連することで情報の共有をした方がいいと思う。</p>	<p>全体の統括は、本会議が行ってきているので、今後もこの体制で、生活習慣病全体に関する問題を検討していきたい。</p>